

バイオマス取組事例概要

《農林水産大臣賞》

- ・ 応募主体 京都府京都市
- ・ 都道府県・市町村 京都府京都市
- ・ 取組分野 バイオディーゼル燃料

取組概要

バイオディーゼル燃料化事業

廃食油をリサイクルし、循環型社会と地球温暖化防止に向けた取り組み。



京都市では、地球温暖化防止と循環型社会の構築を大きな柱に環境政策を推進。その一環として、平成9年から廃食油を回収(市内約825拠点より13万㍓/年)、バイオディーゼル燃料化し、ごみ収集車や市バスの燃料として利用を開始した。

国内において、バイオディーゼル燃料の品質規格がない中で、円滑な利活用を図る観点から、学識経験者からなる技術検討会を設置し、京都市独自の品質規格を策定。平成16年6月には、この規格を満たす国内最大級の廃食用油燃料化施設を整備したところである。



廃食油の燃料化に伴って発生する含油廃水や廃グリセリンについては、同一敷地内にあるクリーンセンターでの適正な処理やサーマルリサイクルに向けた取組を行っている。

これにより、市民との連携を発展させ、地域における安定的バイオマス利活用システムが完結した。

なお、この燃料には市民に親しまれるよう「みやこ・めぐるオイル」という愛称を付け、普及啓発に取り組んでいる。

